

麻酔下で歯科処置を行った犬の実施月齢(年齢)についての回顧的検討

Retrospective study about the age of dental treatment under general anesthesia in dogs



高田麻由 相模大野プリモ動物病院

三浦貴裕¹⁾ 白畑 壮⁵⁾ 草場宏之²⁾ 佐藤陽子³⁾ 永田あかね³⁾ 和田藍果⁴⁾ 吉村 忍⁵⁾ 山崎 真実³⁾ 小田嶋 希佳⁵⁾ 小宮山 祥太⁴⁾ 玉原智史¹⁾ 鈴木義之⁵⁾

1)相模大野プリモ動物病院 2)横浜戸塚プリモ動物病院 3)厚木プリモ動物病院23時 4)相模原プリモ動物病院 5)プリモ動物病院相模原中央

はじめに

歯周病は3歳以上の犬の約8割が罹患しているといわれ、一次診療の現場において非常に多く相談を受ける疾患の一つである。犬の歯周病の治療において、どの時期に麻酔下での歯科処置が推奨されるのかを検討するために、当院の歯科処置を実施したジャパンケネルクラブ(JKC)登録数上位の内5犬種の実施年齢および抜歯処置の実施の有無について回顧的な検討を行った。

対象

* 麻酔下での歯科処置を行った犬401頭を右の項目に分けて解析・考察した。

体重

実施年齢

犬種

トイ・プードル、ミニチュア・ダックスフンド
チワワ、ポメラニアン、ヨークシャー・テリア

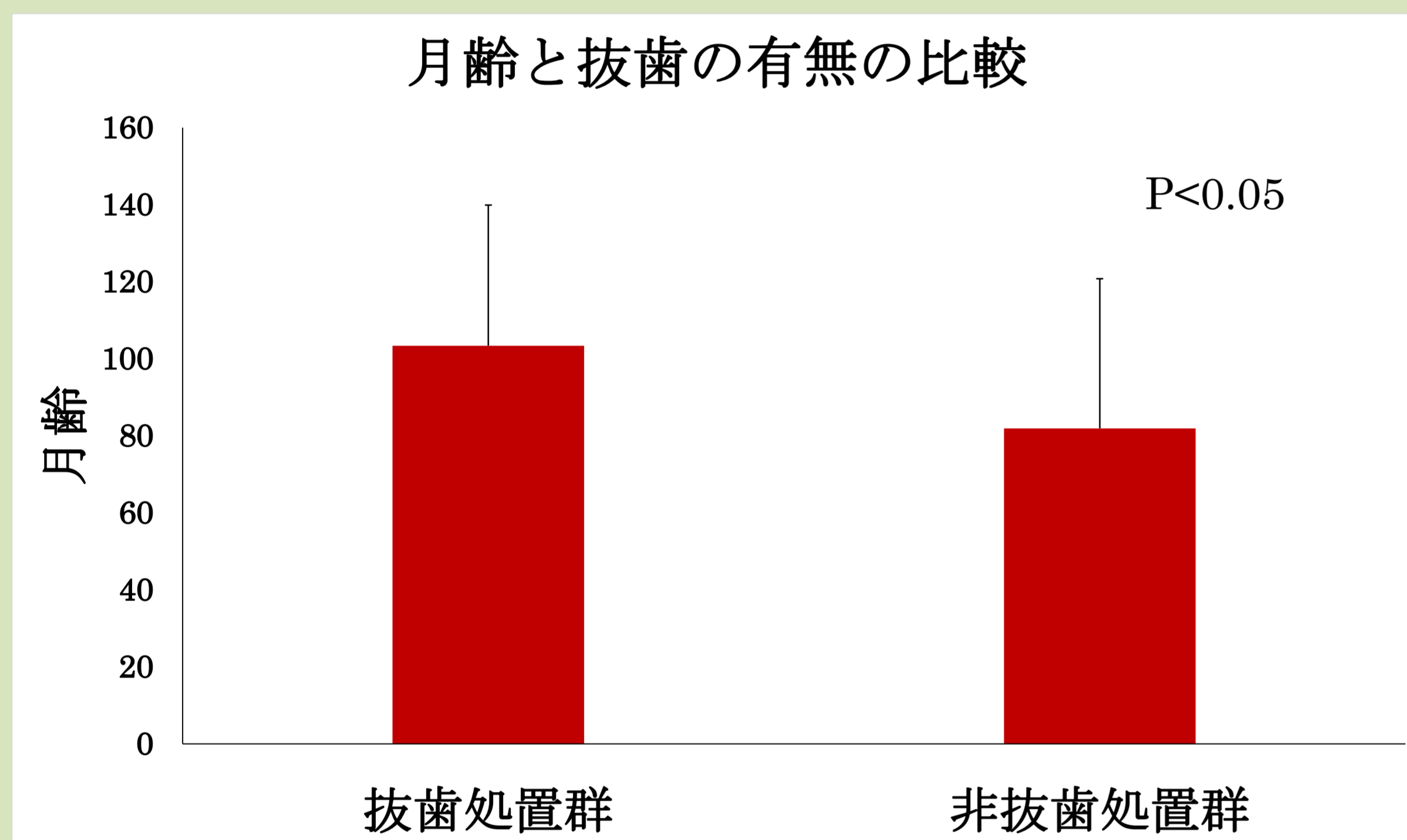
抜歯処置の有無

性別

※初回の処置時のみの情報を対象

※2011～2016年のプリモ動物病院グループのデータより

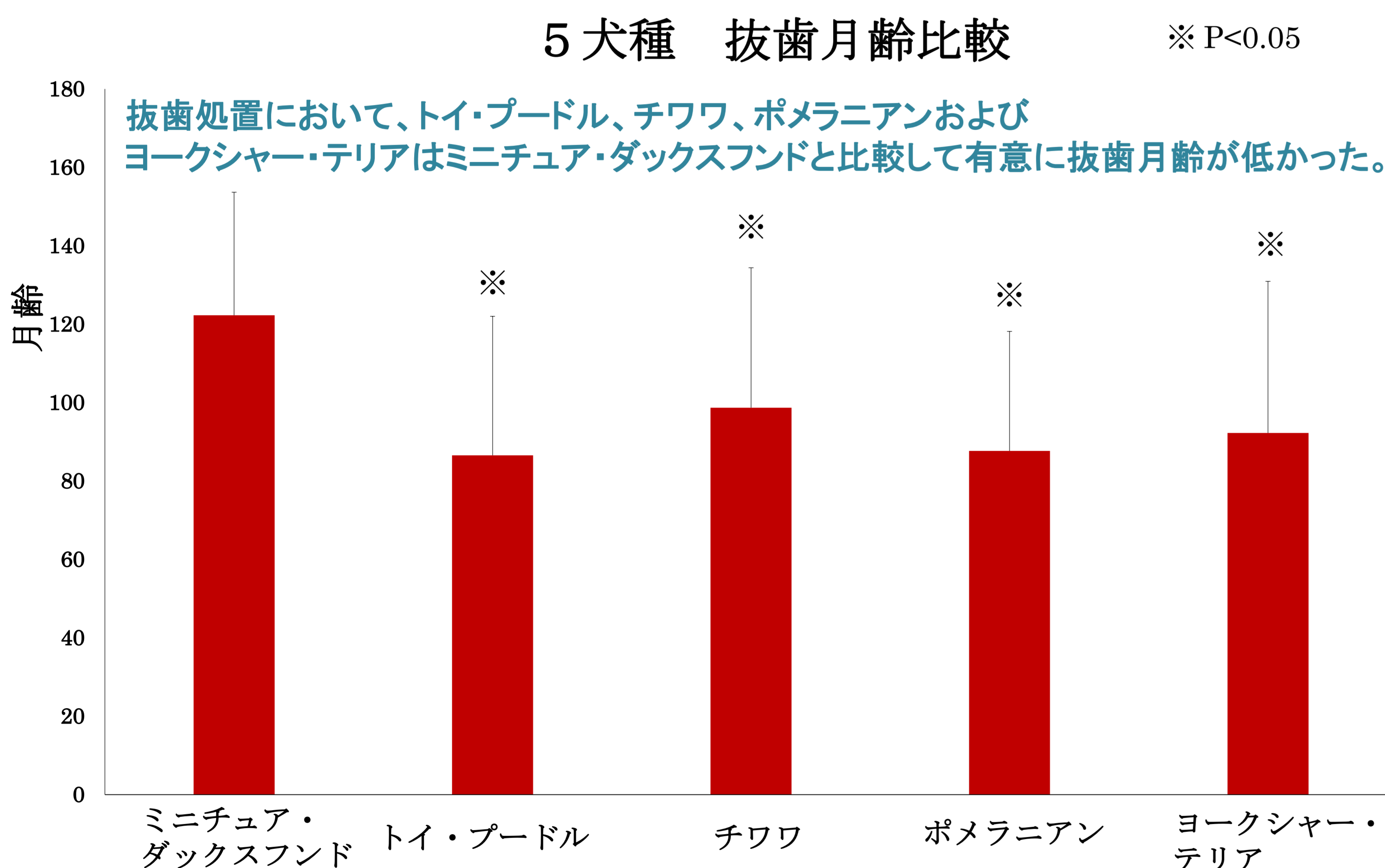
結果1 全頭における抜歯処置群と抜歯非処置群の月齢(年齢)の比較



抜歯処置群は非処置群と比較し有意に月齢が高かった。

	平均値(月齢)	平均値(年齢)	標準偏差(月齢)	標準偏差(年齢)
抜歯処置群	103.37	約8歳6ヶ月	36.52	約3歳0ヶ月
抜歯非処置群	81.91	約6歳8ヶ月	38.85	約3歳2ヶ月

結果2 人気犬種ミニチュア・ダックスフンド、トイ・プードル、チワワ、ポメラニアンおよびヨークシャー・テリアにおける比較



	抜歯処置群		抜歯非処置群	
	平均値(月齢)	平均値(年齢)	平均値(月齢)	平均値(年齢)
ミニチュア・ダックスフンド	122.27	約10歳2ヶ月	93.25	約7歳7ヶ月
トイ・プードル	86.54	約7歳2ヶ月	79.44	約6歳6ヶ月
チワワ	98.7	約8歳2ヶ月	61.8	約5歳1ヶ月
ポメラニアン	87.67	約7歳3ヶ月	65.89	約5歳4ヶ月
ヨークシャー・テリア	92.27	約7歳7ヶ月		

ミニチュア・ダックスフンド

抜歯処置群は非処置群と比較し有意に月齢(年齢)が高かった。

トイ・プードル

抜歯処置群は非処置群と比較し月齢(年齢)に有意差は認められなかった。

チワワ

抜歯処置群は非処置群と比較し有意に月齢(年齢)が高かった。

ポメラニアン

抜歯処置群は非処置群と比較し月齢(年齢)に有意差は認められなかった。

考察・まとめ

□ 今回の検討では、体重、性別による有意な差は認められなかった。(データ非記載)

□ 麻酔下での歯科処置の実施月齢(年齢)が高くなるに伴い、抜歯処置が必要となる傾向が見られた。

□ 抜歯処置においてミニチュア・ダックスフンドと比較して、トイ・プードル、チワワ、ポメラニアンおよびヨークシャー・テリアは有意に抜歯月齢(年齢)が低かった。

→ トイ・プードル、チワワ、ポメラニアン、ヨークシャー・テリアは、より早期に歯科処置を誘導する必要がある。

□ トイ・プードルとポメラニアンでは、歯周病がミニチュア・ダックスフンドやチワワに比較して、より速く進行すると考えられた。

□ 抜歯処置にならないためにもより早期に歯科処置や日常ケアを行ってもらいように勧め、抜歯処置を必要としない歯科処置を行えるようにしていくことが重要である。